

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、城下町新発田会の皆様には、平素から「ふるさと新発田」に物心両面にわたり、ご支援とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、新発田市におきましては、昨年3年振りとなる「城下町新発田まつり」を開催いたしました。コロナの影響が続く中ではありましたが、「こういうときだからこそやりたい」という市民の力強い声に胸を熱くし、そして、まつりに参加された皆様の笑顔がまちに元気を与えてくれました。

今年の干支である「卯」は、その穏やかな様子から「家内安全」、そして跳躍する姿から「飛躍」を表すとされております。本年が災害もなく安全に過ごせるよう、また皆様それぞれが目指す先に向かって大きく飛躍する年となりますことをお祈り申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりましてより良き年となりますことをご祈念申し上げます。

本日はおめでとうございます。

令和5年1月15日 新発田市長 二階堂 馨



新発田市
二階堂 馨 市長

東京新潟県人会が新年祝賀会を開催

東京新潟県人会（小林保廣会長）の新年祝賀会が、1月28日（土）ホテル椿山荘東京で3年ぶりに開催された。コロナ禍のため人数制限があり、総勢459名の参加となった。城下町新発田会からは小野会長他3名が出席した。当日は、花角新潟県知事をはじめ、県選出の国会議員や市町村長なども出席し新年を祝った。

小林保廣新潟県人会会長はあいさつの中で、予断を許さぬコロナ禍にあって、健康で集うことができたことを祝うとともに、令和2年に会員の多大な協力のもとで新潟県人会館（ふれあいふるさと館）が完成したことに感謝の意を述べた。



あいさつに立つ小林保廣会長

JA北越後
お米は
美味しい
JA北越後で

JA北越後
農産物直売所

営業時間/9:00~18:00 定休日/火曜日
冬季営業時間(12月~3月)/10:00~17:30
http://shop.ja-kitaechigo.jp/

JA北越後オンラインショップ 検索

マスコットキャラクター
「きたっち」

土地・建物・売買・仲介
千葉県知事免許(12)第5435号

三光建設株式会社

代表取締役 松川 吉男

TEL: 047-396-0161(代)
FAX: 047-396-0162
千葉県市川市富浜 1-6-20



新年祝賀会を開催

令和5年城下町新発田会新年祝賀会を1月15日(日)、東天紅上野本店で開催した。当日は、来賓として伊藤純一新発田市副市長、渡邊誠一市民まちづくり支援課長、廣川高志東京新潟県人会副会長、特別ゲストとして小谷野達雄関西新潟県人会会長(五十公野出身)、高山博司しばた豊浦会会長が出席し、新年を祝った。

今回は3年ぶりの開催となったが、コロナ禍の影響もあり、総勢は32名で例年を下回った。久しぶりの宴席とあって、歌手・舞さくらさんの歌やカラオケ、抽選会などもあり、にぎやかに懇親を深めた。



会長あいさつ



城下町新発田会
会長 小野悦男

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスのため休会続きで、3年ぶりの新年会となりました。待ちに待った会であり、たいへん嬉しく思います。しかし、コロナの影響もあり参加者が以前より少ないのが残念です。新年ですので、今年やりたいことをお話いたします。まずは久しぶりに「ふるさと訪問」をやりたいと考えています。その際には、新発田在住の会員や賛助会員とも交流をしたいと考えます。時期は桜の頃と思っていましたが、大倉喜八郎翁の向島別邸「蔵春閣」が諏訪神社隣の東公園に移築中です。その公開が4月29日予定ということですので、その後にしたいと思っています。

5月には総会を行います。そして、夏から秋にはレクリエーションを企画したいと思います。加えて、

軽い飲食の会を年に何回か企画し、交流を深めたいと考えています。

次に「新発田市に何か貢献できることはないか」考えています。社会福祉協議会への協力やふるさと納税などは従来からやってきました。そこで提案なのですが、「新発田の物を使うこと、食べること、飲むこと」にご協力いただけませんか。スーパー行けば新発田のお酒が並んでいます。米は新発田の米がうまいです。市民まちづくり支援課にもお願いして、新発田からお取り寄せできるものを紹介していきたいと思っています。

最後になりますが、新しい会員を増やすことが課題であり、努力してまいります。中学校や高校の同窓会など、機会がありましたらぜひ入会のお声掛けをお願いいたします。

本年も皆さんがご健勝でますますご活躍されますことをご祈念申し上げ挨拶いたします。

庭園カフェ いらしま



新発田市諏訪町3丁目1番17号
TEL: 0254-26-1011



新潟県認定1028号

くだもの生産直売

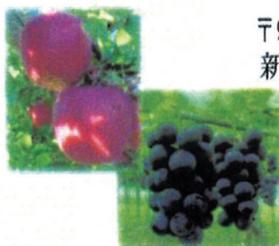
ぶどう、りんご、西洋梨、桃
果実加工

高橋農園

〒959-2506

新潟県新発田市横山149番地

直売所FAX兼用 0254-29-2287
E-mail kenta@muse.ocn.ne.jp



果物の地方発送
西洋梨ルレクチエの贈答

竹俣氏について

城下町新発田会

幹事長 松川 吉男

私の生まれたところは、新発田市大字下三光という集落で、現在「ニノックス」というスキー場がある山の麓です。

小学校は、竹俣小学校（現在は廃校となり竹俣養護施設となっています）でした。昔から親には竹俣という名前は由緒ある名前と聞いており、実家には刀や槍があり、古文書には4代当主竹俣為綱（ためつな）から天文9（1540）年に土地を分け与えるという古文書もあります。（現在も所有、米沢の上杉神社にも同じ物あり。当時二通作成したとのこと）そんなことから、竹俣一族のことを調べるようになりました。下三光のうえに上三光という集落があり、その山間部の黒石山（標高1100m）の端に竹俣季綱（すえつな）が岩谷城を築く後に岩谷城亥の方向頭に適水の城（竹俣新城）を築いておりました。（竹俣、本庄、中条、新発田氏、は揚北衆と呼ばれた）

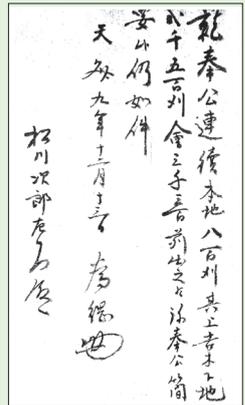
もともと竹俣氏は城資盛（じょうすけもり）の反乱（平安～鎌倉初期）に際して総指揮を執った御家人佐々木盛綱を祖とする。盛綱は、源頼朝の挙兵に初めから加わり、鎌倉幕府創業となる越後加治荘を賜り、以後佐々木盛綱の子孫は越後に繁えんし、嫡流は加治を呼して新発田、竹俣らの諸氏が分かれ新発田氏と竹俣氏が歴史上に登場するのは同じ頃である。

竹俣姓を称したのは加治季綱の時応永20（1413）年頃居館の北館の竹やぶに二俣の竹が生え後の城郭を竹俣城に移した後にも、上三光に移した後にも二俣の竹が生えたので、加治の姓を改めて竹俣と称したと、言い伝えられている。（上三光にある菩提寺宝積寺に二俣の竹を保存してあります）竹俣氏は初代季綱～13代続きました。その時代時代にいろいろな乱もありましたが、そ

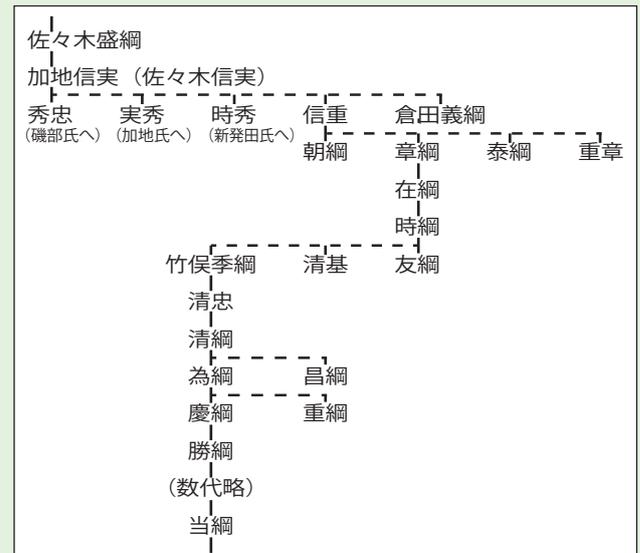
の中でも豊臣家の柴田勝家と上杉景勝との戦いで、越中魚津城にて慶綱（よしつな）が守将となり柴田軍に負け自害した。この時、戦いで死んだ時に名前が分かるように耳に穴をあけ、名札を付けて戦ったことは有名です。また、慶綱の名刀竹俣の兼光の伝説でも有名である。

その後、慶綱の戦死により、竹俣氏嫡流は断絶したが、文禄2（1593）年、長尾景人に名跡を相続し、利綱（としつな）と号した。慶長3（1598）年上杉景勝の会津移封に従い、守山城代（郡山）となった。

関ヶ原の合戦後、上杉は豊臣方についたため、会津から米沢に移り、子孫は上杉の重臣と続き、竹俣当綱（まさつな）は、江戸時代の名君上杉鷹山（治憲）の改革に共鳴し実行した家臣の一人です。また、当綱の子孫は、女流棋士で有名な竹俣紅さんで、現在はフジテレビのアナウンサーをしています。



古文書



竹俣氏系図

手づくりの藍染め小物や
手描きローケツ染めインテリア商品を
真心こめてお作りします

染色工芸藍染

泉屋染物店

〒957-0052
新潟県新発田市大手町1-7-2

電話 0254 (22) 3216

FAX 0254 (22) 1026

HP <http://izumiya-aisome.com/>

創業明治三十五年
親から子に
伝わる味
おふくろの味
祖母の味
ふるりの味



(有) 宮村製麩所

〒957-0356 新発田市岡田1807-6 食品団地内
TEL 0254-22-2950 FAX 0254-26-5415

賛助企業・団体紹介 ②

J A 北越後



J A 北越後本店

J A 北越後（齋藤松郎・経営管理委員会会長）のエリアは、新潟県の北部に位置し、北西部は日本海に面し、東部は飯豊連峰の山岳部を境に山形県に接する。飯豊連峰に源を発する加治川とその支流は、豊かな大地を潤し、「北蒲原の穀倉地帯」を育んでいる。北越後の豊富な水、肥沃な大地、恵まれた気候に育まれた米・野菜・果物・畜産物など、より美味しいものを届けたい、そんな思いで日々努めているのが J A 北越後です。

北越後農業協同組合（J A 北越後）本店
〒957-0011 新発田市島潟 1184-1
TEL：0254-26-2600 / FAX：0254-22-4979

こったま～や



注文専用フリーダイヤル
0120-121-390



オンライン
ショップ



アスパラくん



きたっち

J A 北越後の農産物直売所が「こったま～や」。この名前は、新発田の方言「こったま(たくさん)、や(屋・お店)」から生まれました。旬の地場産物を通して、地域のみなさんに元気と笑顔をお届けしています。



北越後コシヒカリ



アスパラガス



越後姫



新発田牛（にいがた和牛）

ごままんじゅう ◆ くるみがんじき



手づくりの白い肌風味豊かなごまの香りの「ごままんじゅう」。
もち、ごま、こしあんの素朴な味をお楽しみ下さい。
「くるみがんじき」はくるみを水飴でつなぎ、海苔で巻いたお菓子。
加賀の食文化が新発田に入り、今では、地域に根ざした郷土菓子のひとつとなりました。

有限会社 和泉屋

〒957-0053 新発田市中央町2-1-17
TEL. (0254) 22-3289 FAX. (0254) 22-3900
〈営〉9:00～18:30 〈休〉元日
※売り切れ次第、閉店17:00とさせていただきます。

No.5 農事組合法人二王子

品目

メロン、チンゲン菜

住所

〒957-0347
大字大友3836

TEL

(0254)25-3488 (事務所) メロン……10月中旬～2週間
(0254)25-2285 (代表者宅) チンゲン菜…1月下旬～2月下旬



その他

贈答用可

蔵春閣が4月29日より一般公開

新発田市出身の実業家・大倉喜八郎氏の向島別邸「蔵春閣」の新発田市内・東公園への移築工事が進められていますが、4月29日より一般公開されることになりました。

先の大戦で焼失した明治天皇の皇居「明治宮殿」の造営に当たったのが、大倉土木（現・大成建設）です。蔵春閣はその宮殿を模したもので、当時の様式を残すたいへん貴重な建物です。かつては、伊藤博文や渋沢栄一など政財界の要人が招かれ、大正・昭和の歴史一端がこの場所で作られたのかもしれない。

大倉喜八郎に関する資料の展示のほか、食や文化を伝承する施設にする計画です。

入館料は、開館から半年間は無料とのこと。



TOPICS トピックス

表参道に「こったま〜や」が出店

2月3日～5日、新発田市のJA北越後から、農産物直売所「こったま〜や」が昨年5月に続き新潟館ネスパスに出張出店し、「オータムポエム（アスパラ菜）」「越後姫」などの地場産品を届けてくれました。城下町新発田会からは、4日（土）に会員10名が集合し、“こったま”買い物をした。当日は天候にも恵まれ多くの買い物客でにぎわっていました。JA北越後のみなさん！寒い屋外テントでのお仕事、お疲れさまでした。



ネスパスに集った城下町新発田会のみなさん

新発田市社会福祉協議会よりお礼状

新年祝賀会において、会員より「使用済み切手」や「書き損じはがき」などを多数ご持参いただきました。新発田市社会福祉協議会（白田久由会長）に

送付したところ、白田会長名でお礼の手紙をいただきました。今後も社会福祉活動推進のために、日頃からの収集ボランティア活動にご協力をお願いいたします。

結納、ご法事各種ご宴会・パーティにご利用下さい。

〒957-0057 新発田市御幸町1丁目1の1

刺立 志まや

電話 (0254) 22-2102(代)

FAX (0254) 26-3430

国際認証取得圃場で栽培された「越後菅谷産」の
安心・安全なお米を生産・販売いたします



農地所有適格法人

有限会社 アグリ・システム

〒959-2517 新潟県新発田市麓691番地

TEL:0254-29-2500 FAX:0254-29-2131

TOPICS トピックス

県北豪雨被害義援金

昨年8月の台風による大雨災害により新潟県北部の村上市・胎内市・関川村などでは甚大な被害に見舞われました。この被災者支援のため東京新潟県人会では、募金活動を行いました。そして、10月14日東京新潟県人会の役員が県庁を訪れ、花角新潟県知事に義援金300万円の目録を贈呈いたしました。

城下町新発田会では、義援金として1万円を贈りました。別途、会員各位からの募金もいただきました。ご協力ありがとうございました。

会員を募集中

城下町新発田会では、随時新規会員の募集をしています。新発田市にゆかりのある方にお声掛けいただけましたら幸いです。入会ご希望の方は、松川幹事長(090-3133-9063)まで連絡ください。
年会費：3,000円 郵便振替：00130-0-353560
加入者名：城下町新発田会

プレゼント企画

新年会に出席いただいた関西新潟県人会の小谷野会長より、「浮世絵・相撲絵10枚セット」をいただきました。新年会を欠席されたご希望の方、先着10名にプレゼントいたします。ご希望の方は、はがきに「相撲絵希望」・住所・氏名・電話番号をご記入いただき、〒359-1142 所沢市上新井3-58-9 小野悦男までお申し込みください。なお当選の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



編集後記

お祝いといえば「紅白まんじゅう」。今年の新年会に用意してみました。製造は新発田市の菓子舗「金子屋老舗」。懐かしい結婚式の鯛の生菓子も作っているそうです。

年末の大雪のため、輸送の不安から新年会では「笹団子」を取り寄せることができませんでした。例年通り販売するものと期待して来られた会員さんには申し訳ありませんでした。

ふるさとの酒蔵・王紋酒造から清酒「市島」「夢」、梅酒「かれん」を取り寄せ、懇親会でのご賞味とおみやげ用の販売をいたしました。

「新発田の物を使いましょう、食べましょう、飲みましょう」そうしたこと、ふるさとにわずかでも貢献すること、絆を深めることができると願っています。

王紋酒造
本社：新発田市本町1-7-5
TEL.0254-22-2350/FAX0254-23-6233

江戸屋餅菓子舗
店：新潟県新発田市中央町3-8-9
Tel 0254-22-3942
定休日：火曜日 営業時間：9:30-18:00
工場：新潟県北蒲原郡聖籠町蓮湯 3397-1
Tel 0254-27-3390 Fax 0254-27-3356

大切な方への贈り物にはお米を！
産地直送の美味しいお米のギフトセットを販売
ご家庭用にもどうぞ

産地直送でお米・新潟県産コシヒカリの
お取り寄せならおの米店へ

おの米店
美味しいお米を販売
0254-25-2434
090-5197-8067
8:00 ~ 21:00